

## 平成 29 年度・第 2 回 放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 2017 平成 29 年 7 月 20 日(木曜日)
2. 開催場所 弊社事務局
3. 委員出席 委員総数 5 名、出席委員数 5 名
  - (1) 出席委員の氏名 小坂康雄、中村真弓、得上成子、栗原さつき、安藤一宏
  - (2) 欠席委員の氏名 無し
  - (3) 放送事業者側出席者名 技術統括・放送担当 岩田豊 放送局副局長 棟方智子

### 4. 議題及び議事の概要、審議内容

はじめに 放送担当より挨拶、審議員委員長より挨拶

- (1) 報告事項 西ヶ谷潤子「ハワイアン ALOHA Swing」
- (2) 審議事項 7 月度からの各番組について
- (3) その他事項 今後の放送番組審議会開催日程について

### 5. 審議機関の答申または意見に対してとった措置の内容

- (1) 放送番組「西ヶ谷潤子ハワイアン ALOHA Swing」の内容に関する説明を行い、同録の再生ののち、各事項を審議致しました

(放送担当より)

今回の報告番組は隔週で生と収録を交互で放送している番組で、前回ご案内の番組同様、当局の番組ラインナップの中では比較的初期より放送させていただいております。この番組の基本的な構成は、アロハソングが好きなフリーアナウンサーであるメインパーソナリティが、広くアロハソングをリスナー皆様にご紹介するとともに、近隣地域で開催されるフラダンスなどのイベントに関する情報提供、イベントに参加した感想や、時に関連するゲストをお招きし日頃の活動などの話を聞かせて頂く、といった内容です。今回ご審議いただくのは、7 月 21 日に放送予定である収録番組より抜粋した内容となります。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

(番審委員より)

地域でハワイアン関連の活動をされている団体は多いと聞いていますので、どんなイベントが有るなどの情報提供はとても良いことと思います。中には 70 代でフラダンスを踊っている方もいらっしゃるかと聞いたことがあります。世代を超えたリスナー皆様に聞いて頂ける内容となって欲しいです。

(番審委員より)

番組開始当時に聴取させていただきましたが、当時は普段聴くことがない、少し変わった感じのハワイアンソングを何曲かご紹介されていた記憶があり、当該分野の専門性が高い番組なのかなと思った記憶がありましたが、最近また今回の試聴内容からは、スタンダードとも思える曲なども多くなり、専門的というよりは、むしろ広く一般向けに変わったのかなという感じがしました。もちろん、どちらもリスナーにとって有用なことと思いますので、短い時間の中での調整は難しいのかもしれませんが、いわゆるマニア向けの、以前のような少し変わった、専門的な曲の紹介コーナーなどを設けていただくと、番組全体がより内容の濃い構成になるのではないかと思います。たまには深い話も入れて、人によっては「なるほどねえ」と、ハワイアンという文化に更に強く興味を持って頂けるのではないのでしょうか。

(番審委員より)

生放送のときは、より直近のイベント紹介などが可能となり、趣味を共有するリスナーにとっても魅力的な番組かと思います。

(放送担当より)

貴重なご意見ありがとうございました。当該番組は30分という限られた時間の中で4~5の曲紹介をしていますので、番組コンセプトとも照らし合わせて、あまり駆け足とならない程度に、皆さまのご意見を多く反映できればと思います。早々、今後の番組構成の参考とさせて頂きたいと思います。

(2)

(放送担当より)

まず7~9月の番組表を皆様にご案内させていただきます。前回の目標にあわせて、今回のクールで、お昼の時間帯(12:00-13:00)と午後の時間帯(15:00-17:00)について、平日の生放送化はある程度進んでいます。併せて、7月1日より、インターネット配信も開始しました。今後は生放送番組を有意義に活用して、地域の皆様からのホットな情報をできるだけ早くご提供できますよう、工夫して参りたく存じます。

(番審委員より)

インターネット放送に関しては、まず、どんなメリットをご想定されているのか伺いたいです。それから、リスナーはこれをどうやったら聴けるのか、という点で、ご高齢の方にとっては少々敷居が高い部分があります、この、どうやったら聴けるのか、聴くための手順などを、ホームページ等でご案内頂けると良いかと思います。また、こしがやエフエムが主催・参加するイベント会場などで、スマートフォンを直接手にとってご指南頂けると、リスナーが増えると思います。が如何でしょうか?

(放送担当より)

インターネット配信を行うメリットに関しましては、まず、コミュニティエフエム放送は最大出力の制限により、放送区域内においても環境条件により難聴取エリアが存在するため、その補完的役割が一番であると考えています。また、放送区域外にお住まいの、地域に関わりのある皆さま(例えば出身者、通勤者や市民の縁故の方々など)にも、インターネットを通じて広く地域情報をご提供できることが第二のメリットではないでしょうか。

なお、導入に際する個々のフォローアップについては、リスナー獲得の近道でもあり、早々、サービス提供事業者様との連携の中で検討して参りたく存じます。さらに現在、紙媒体による番組表の更新を調整しているところですので、諸事良い形で皆さまのご意見を反映させてゆきたいと思っております。大変有り難うございました。

(番審委員より)

防災番組のことが気になっていました。最近、地域防災訓練の一環として勉強会に参加しましたが、講師としてお話される方々が地域にお住まいの現役防災士の方だったためか、特に住まいに身近な話が多く大変役に立ちました。コミュニティエフエム放送で流す番組にも、こういった、広く一般的な防災情報の提供というよりは、今住んでいる場所などに直結した防災ノウハウをお話される番組があったら面白いなあと思いました。如何でしょうか？

(番審委員より)

7月から生放送が増えて、多くの方がお話になるようになりましたが、路線名や地名などで、それぞれ異なる表現をされているケースが有りました。固有名詞の表現方法の統一などについては、局内での何らかの方策を持って頂き、すべてのパーソナリティさんへ展開されることが必要ではないかと感じました。

(放送担当より)

今回、全体の番組構成について、しっかりと掘り下げたご意見を頂戴し、大変有り難うございました。局の番組企画としましては、予てより地域防災に関わる番組の制作、パーソナリティ研修会の開催は懸案となっており、頂きましたご意見を元に、関係各所の連携とともに実現に向けて調整したいと思います。大変ありがとうございました。

本日頂戴しました多岐にわたるご意見は、早々、今後の番組企画の立案等に反映されて参りたく存じます。また、皆さまの地域や近隣に於かれましても、何かありましたら、引き続きご紹介ください。今後の番組再編とともに、積極的に取材や紹介などさせて頂ければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(3) その他事項・今後の放送番組審議会開催日程について

次回は 平成 29 年 09 月 21 日(木) 10 : 30～

次々回は 平成 29 年 11 月 30 日(木) 10 : 30～

上記の通りご予約ください。

6. 審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法  放送事業者が行う放送(放送番組審議会が、必要とした場合に限る。)

当該事項を記載した書面の放送事業者の本社への備置き

放送事業者の電子公告(<http://www.koshigaya.fm/>)で行なう。

公表の内容 上記 1.3 の人数及び 4 から 6 までの事項

公表年月日 平成 29 年 7 月 25 日

7. その他参考事項

特に無し